

マタイの福音書
聖書講解シリーズ
36) 嵐を静める奇蹟
マタイ 8:23-27
2019.12.15 HKJCF

1

概観

様々な病気を癒され、悪霊を追い出されるイエス様は、自然界の大暴風や大波をも支配しておられる。

アウトライン

- | | |
|------------|--------|
| 1. 弟子たちの従順 | V23-24 |
| 2. 弟子たちの反応 | V25-26 |
| 3. 弟子たちの驚き | V27 |

2

1. 弟子たちの従順 V23-24

- 1) 弟子たちも従った：前回の弟子と違う（マタイ 8:21）；12弟子の献身度がより明確。
- 2) ガリラヤ湖：気温の変化で突風が起こりやすい湖；4人の弟子は漁師。
- 3) 眠っておられた：神に対する信頼の結果（ヨブ記 11:18-19；詩篇 4:8；箴言 3:24-26）。
- 4) 信仰が試される：山上の説教と様々な癒しの場面に立ち会った弟子たち。目撃体験と自己体験の違い → 洗練されていくプロセス。

3

2. 弟子たちの反応 V25-26

- 1) みもとに来て、イエスを起こした：イエス様に頼めばよいという信仰がハッキリしている。
- 2) 主よ、助けてください：この祈りで十分。神は祈りを返けない；「おぼれそう」＝情けない。
- 3) なぜこわがるのか？：祈り⇔恐れ。信仰の薄い者 = (ὀλιγόπιστος, oligopistos) (マタイ 6:30)。表面的、自己中心、神に集中しない信仰。
- 4) 嵐と湖をしっかりとつける：言葉の権威；自然界に対する支配（詩篇 29:3-4；65:7；89:9）。

4

3. 弟子たちの驚き V27

- 1) 人々：弟子たちとイエス様の比較。人間とまったく違うものを持っておられる。
- 2) 驚いて：病の癒しと悪霊の追い出しを目撃しても、まだ信じきれていなかった。
- 3) どういう方なのだろう？：自分との関係の中でじっくり考えていく重要性；自分の枠で神を制限してはならない。
- 4) 蓄積されていく信仰：クリスマス体験；インマヌエルの神の体験（マタイ 1:23）。

5

適用

- ①人生の嵐にではなく、イエス様に注目する：信仰をもって神のご介入と助けを祈り求め、主の前に静まり平安をもって、神の力と素晴らしさを期待していこう。
- ②私たちの人生はイエス様の手にある：罪の力とサタンの攻撃に勝利されたイエス様は、私たちを支えてくださることを信じよう。

6